

脳脊髄液減少症について

静岡県教育委員会
健康体育課

学校に求められている対応①

スポーツ外傷等事故が発生した後、児童生徒等に頭痛やめまい等の症状が見られる場合には、安静を保ちつつ医療機関を受診させたり、保護者に連絡して医療機関の受診を促す。

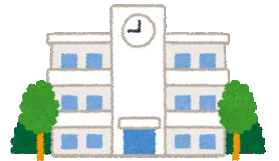
※静岡県内の脳脊髄液減少症に対応可能な病院一覧は、静岡県健康福祉部疾病対策課および教育委員会HPに掲載しています。

脳脊髄液減少症について

「脳脊髄液減少症」とは

交通事故による頸椎捻挫（おち打ち症）やスポーツ外傷等身体への強い衝撃により、脳脊髄液が漏れ続ける症状をいい、長期にわたり頭痛、頸部痛、めまい、吐き気、視力低下、倦怠感などのほか、集中力、思考力、記憶力の低下など様々な症状を呈する疾患であるとされている。

現在、専門家による研究が行われており、医学的な解明が進められている段階である。



学校に求められている対応②

入学当初から脳脊髄液減少症の症状を呈しているが、保護者に尋ねても原因不明で治療などを受けたことがない児童生徒の保護者には、「脳脊髄液減少症」という病気があることを伝え、医療機関の受診を勧める。

